党街宣（集団的自衛権）14､6､27

市民の皆さん、こんにちは。日本共産党白河市委員会です。ただいま集団的自衛権に反対し憲法を守る署名をお願いしています。ご協力をお願いいたします。この場所をお借りして、日本の安全保障と憲法についての日本共産党の政策を訴えさせていただきます。

安倍内閣は、歴代の自民党内閣までが憲法違反としてきた集団的自衛権を、閣議決定で憲法の解沢を変えて、認めるつもりです。集団的自衛権とは何でしょうか。日本への武力攻撃がなくても、アメリカと一緒に日本が戦争に加わることです。

集団的自衛権を使うと、どうなるのでしょうか。一番現実的なことは、アフガンやイラクのような戦争で自衛隊が米軍と一緒に武力行使をするということです。この二つの戦争で自衛隊は派遣されましたが、「武力行使しない」「戦闘地域に行かない」という憲法９条の歯止めがかかっていました。ですから一人の自衛隊員も戦死しませんでした。

この歯止めが無くなれば、自衛隊員が戦闘地域に行って巻き込まれ、武力行使をすることになります。そうなれば日本の自衛隊が他の国の人を殺し、自衛隊員から戦死者が出るかもしれません。日本はテロがたくさん起こる国になります。日本を「殺し、殺される」国にしていいのでしょうか。

日本共産党はよびかけます。若い皆さん、あなたは海外の戦争で血を流しますか。女性のみなさん、息子や夫、恋人を海外の戦争に送りますか。年配のみなさん。お子さんやお孫さんを戦争に巻き込んでも良いのでしょうか。

　安倍首相は、国民の批判を恐れて、「集団的自衛権の行使といっても、限定して使うのだ」と言っています。しかし、その「限定の範囲」を決めるのは、時の政府ではありませんか。いったん「海外での武力行使」の「歯止め」を外してしまったら、時の政府の判断で、範囲はどんどん広がることになります。こんなごまかしを許すわけにはいきません。

　　安倍首相は、ＰＫＯへの参加を足掛かりに「国連の多国籍軍」に参加することも目指しています。集団的自衛権も使う、多国籍車へも参加するとなれば、憲法９条がなくなってしまうのと同じです。

みなさん、なぜ憲法９条が出来たのかを考えてみましょう。かつて日本の侵略戦争によって、310万人の日本人、２千万人のアジア・太平洋の人々が犠牲になりました。この苦しいつらい経験の反省の上に、戦争をしない・軍備を持たない今の憲法９条はできたのです。それから69年、日本は戦争を経験していません。その点て世界中の信頼を得ています。

閣議決定の原案は、「集団的自衛権」という言葉をはっきり書いています。自民党の高村副総裁は24日、「武力行使の３要件」の修正案を出しました。案は、４ヵ所にわたって言葉を変えました。しかし高村氏は会合の後、この案でも、議論してきた全部の事例が「視野に入る」と述べて、何の歯止めにもならないことを認めました。まったく悪質なごまかしです。また、自衛隊の多国籍軍への参加にも、抜け道を作っており、海外での限定なしの武力行使が可能な点は何も変わっていません。公明党は案を持ち帰って党内の調整をしていましたが、山口代表は、党内の反対を押し切って、一部を変えた閣議決定案を飲むことを発表しました。公明党は与党から外されるのを恐れて、集団的自衛権を認めようとしています。憲法９条をくつがえす共犯者になるつもりでしょうか。政府は、来月１日にも閣議決定をする予定です。民主党は賛成も反対も決められません。維新の会とみんなの党は、自民党に賛成しています。日本共産党は、みなさんと力をあわせて安倍内閣による閣議決定、戦争する国への暴走にストップをかけます。

国会の中では、はっきり集団的自衛権に反対する私たちは少数ですが、国民の世論は違います。最近の朝日新聞・毎日新聞・共同通信の世論調査では、憲法改正せずに解釈を変えて集団的自衛権を使うことに、いずれも55・56％の方が反対しています。安倍首相の支持率は10％以上も下がりました。全国で100を超える地方自治体の議会が、自民・公明の議員も含めて、集団的自衛権に反対する決議をしています。福島の県南では、西郷村・矢祭町・石川町が決議しています。

　多くの学者・文化人・法律家の方々が、「国民が、憲法によって政府・権力を監視し縛るのが『立憲主義』です。政府が憲法解釈を変えて９条を無くすのは、まるでさかさまで、絶対認められません。」と述べています。日本共産党は、憲法を変えたいという人でも、日本の民主主義と立憲主義は守りたいと考えている方々とは、手を取り合い共同して、運動を広げる決意です。憲法を守り生かす署名にぜひご協力ください。

 みなさん、東南アジアのＡＳＥＡＮは、１年に一千回もの会議をやって、「紛争を戦争にしない」と頑張っています。それを北東アジアにも広げようと、日本共産党は、紛争を話し合いで解決する「北東アジア平和協力構想」を発表しました。中国とも韓国とも、粘り強い外交で紛争を解決すべきです。安倍内閣のように軍事 一本槍では、戦争の危険が大きくなるばかりです。

新聞の紹介をさせていただきます。日刊の「しんぶん赤旗」は、一ヵ月

３４９７円。「しんぶん赤旗」日曜版は、一ヵ月８２３円で、朝 お宅にお届けします。ぜひ、お読み下さい。日本共産党白河市委員会のホームページは、「共産党・白河」で、検索してみてください。

　これで、この場での訴えを終わらせていただきます。大きな声で失礼いたしました。ご協力ありがとうございました。

2231字　　8分34秒ほど